

④迫間の田の神（餅原地区）



・左手前が田の神の祠 右奥が餅原納骨堂

- ・所在地 大字餅原字迫間
- ・型式 神官座像型
- ・像高 80センチ
- ・被り物 冠
- ・持ち物 なし（六月灯時にメシゲを奉納しているそうです）
- ・建立年代 不明
- ・備考 この田の神は、餅原納骨堂の敷地内にあります。



三股町教育委員会発行の『田の神』（小冊子、発行年不明）には、餅原地区にもともとあった田の神はオットラレて、現在の田の神は高木か桜木あたりからオットッテきたものらしいという聞き取り調査が掲載されています。また、桑畑初也氏の『みまた歴史散歩』（75ページ）には、以前は、この田の神は東向きに祠の中に置かれていましたが、平成12年に田んぼがある西向きに置き直されたとあります。青山幹夫氏の『宮崎の田の神』（93～95ページ）を見ますと、手の組み方は、右手が上、左手が下の上下輪握りで、この手の形は小林市の西小林駅前の神官型、高原町小場野の神官型と三股のもの三体だけのようで、その中でも三股のものが最も大型だそうです。この田の神は、色鮮やかに化粧がしてあり、祠に入っているおかげで保存状態も良好です。